

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田作を主体に、園芸作物の盛んな中間農業地域
- 後継者不足や高齢化が進行し、農地の受け手となる担い手の育成・確保が急務

【支援内容・背景】

- 担い手の水稲・園芸作物の経営規模の拡大に対応し、省力化・作業の効率化を支援する必要。
- 助成対象者は、地域内で水稲とアスパラガスの複合経営を行っており、経営規模の拡大と高収益化に取り組む。若手就農者の育成にも意欲的に取り組み、収益性・生産性の高い地域の担い手として一層の経営発展を支援。



助成対象者「株式会社喜多方キラリファーム23」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成元年 親から農業経営を継承
- 平成13年 アスパラガスの栽培を開始
- 平成14年 経営改善計画の認定
- 平成23年 法人化(株式会社)、法人として経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 水稲とアスパラガスの栽培規模の拡大を図るためには、省力化・作業の効率化が必要。水稲とアスパラガスの作付面積の拡大と収益性向上に向け、田植作業の効率化を図る高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈H30年度〉

- 売上高 31百万円
- 経営面積 12ha

《事業による整備内容》

- 田植機(8条植え) 1台  
事業費 3,707千円  
(国費 1,853千円)
- ドライブハロー 1台  
事業費 1,034千円  
(国費 517千円)



【現在の経営状況】  
〈R3年度〉

- 売上高 41百万円(132%)
- 経営面積 14ha (117%)

事業の  
効果

《対象者》 作業の省力化・効率化により、水稲、アスパラガスの作付面積が拡大するとともに、アスパラガス等の直接販売に取り組み、売上高の増加が実現。  
《地区》 複合経営による収益性・生産性が向上したことにより、地域農業を牽引する担い手として経営が確立。